

学年通信



岡山探山高等学校1年次生
生徒の皆さんへ
そして保護者の皆様へ
平成20年5月14日

宿泊研修特集号

4月23日(水)～25日(金)に1年次生の宿泊研修を実施しました。例年通り、「高校生としての基本的な生活習慣の確立」・「良質な人間関係作り、集団作り」・「連帯感の醸成」を目的としました。ただ、3年間利用した明石市の〈あさざり寮〉を離れ、国立吉備青少年自然の家で行った点が、新機軸でした。

【4月23日(水)】 内は生徒の「まとめ」より引用(文章観玩のまです)
場所が近くなった関係で、いつもの時間に登校。1限にクラス活動を行った後、10時にバスで学校を出発しました。

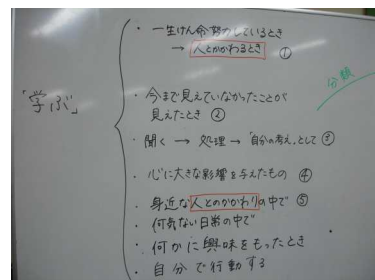
入所式の後、ベネッセの小野恭裕先生による基調講演が行われました。演題は「充実した高校生活を送るために～高校時代に身につけてもらいたい〈学び〉とは?～」。小野先生の高校時代のお話も交えて、

- 「自信の持てる自分」になれるための努力が大切。
- 「本気」で係わらない限りは、何も「学ぶ」事はできない。
- 小・中学校と高校・大学の「学び」の違い。
- 高校・大学時代は社会人となるための「助走期間」。

など、具体的で分かりやすいお話を頂きました。

午後は「学び」を共通テーマにクラス討議。抽象的なテーマだけに最初は四苦八苦したクラスもあったようですが、どのようなときに〈学ぶ〉のか、そこで大切なことは何か、など真剣な討議がなされました。

◎上手には言えないけれど、相互に意見を交換、尊重し合うことで、同じ学舎で、学ぶ人たちがどのような考えを持っているかを知ることができて、違う地元の人と一緒に学ぶということで、少し閉ざされていたところが広がり、みんなと打ち解けあうことができました。



◎なんか哲学のようなイメージを抱いた。結構、矛盾していたり、食い違ったりしていて、とても興味深かった。

◎意見を出さなかった自分を悔やむばかりだった。

◎今までクラスの話し合いでも自分の意見はあまり言えず、クラスメートのお話を聞いたりするだけだった。けど、今回の研修で自分の意見を聞いてもらう嬉

しさを知り、またクラスでの結論がまとまったときの嬉しさも大きかった。

夕食後に行われた各クラスの討議内容の発表会では、

- 主観から客観に変わった時、学んだと言える。
- 本気で頑張った時、一生懸命やったという経験が大切。
- 「自分と他人」・「体験」が出そろった時に学ぶことができる。
- 人間関係によって自分自身を発見できる。

など、話し合いの深まりを感じさせる発表ばかりで感心しました。最後に國友校長から講評を頂いて、一日の行事を終了しました。

◎各クラスハイレベルで説得力があり、どのクラスも充実した話し合いがもてたのだと思った。

【4月24日(木)】

6時15分起床、6時45分清掃で朝がスタートしました。清掃時間になって慌てて起きるなど、朝の時間が守れなかった人が見受けられ、課題の一つが見つかったと感じました。

昨夕からの雨で「朝のつどい」は中止。朝のうちに雨が上がるが見通せたので、午前と午後の活動の順序を逆にして、午前中にクラス活動(スタンプ練習)を行い、午後からポイントオリエンテーリングを実施しました。午前中の活動に力が入りすぎて、ややバテ気味の生徒もいましたが、穏やかな天候に恵まれ楽しくオリエンテーリングができたと思います。

◎ポイントオリエンテーリングで私たちの班は55点と結構低めで、山の中を無駄に歩いたのではなかろうかと少しショックでしたが、男女どちらも速すぎず遅すぎず、マイペースで行けたので楽しかったです。

さて、夜7時からはお待ちかねのキャンプファイヤー。女神から営火長、そしてクラス代表の分火者へと火が渡され、各クラスで考えた誓いの言葉を述べる儀式の後、聖火に点火。その後、各クラス工夫のスタンプが発表され、大いに盛り上がりました。

◎リーダーシップを取ってくれる人たちが一生懸命まとめてくれ、振り付けを教えてくれたので、それに触発されたのか次第に全員が懸命に、恥ずかしがることもなく振り付けを覚えていました。

◎結果はうまくいきましたが、それよりも歌っているときに学年の人が手拍子をしてくれたのがとても嬉しかったです。

◎スタンプも、元は内容自体乗り気でなかったせいもあり、テキトーに終わらせたいと思っていた。しかし、練習して行くにつれて、ふざけ半分ではあったがおもしろさが出てきて、スタンプが楽しくなった。最初はやる気などなかったのに気がつくとも成功させたいと思っていた。

◎思えば、僕たちには練習しかなかった。協力すること、助け合うことがあったらどうか。あったとしても足りなかった。この研修の一番の目的じゃないか。

今さら悔しくなってきた。

◎スタント練習での話し合いは、私にとってはある意味、クラス討議よりも苦しくて、いっぱい悩んだときでした。中には結果的にも納得していない人がいるかもしれませんが、私はあれが成功だと思っています。

◎救いとなることは一つだけあります。それは意見がぶつかり合ってもめたという事実です。考えは違っても、それは明らかにどうにかしてスタントを完成させたいという気持ちがあったために、ぶつかってしまったのだと思います。

【4月25日（金）】

起床後清掃、朝食後片付けと、忙しい朝になりました。9時頃からクラス活動のまとめを行った後、10時30分から野外炊事を実施。班によっては悪戦苦闘していましたが、何とかおいしいカレーができて無事終了。

ただ、予定では13時には終了するはずでしたが、全員が終了して戻ってきたのは14時を過ぎていました。これは明らかに私(学年主任岡田)の見込み違いでした。子供時代に毎日薪で風呂炊きをしていた人間(私です)の感覚で予定を立ててはいけないということですね。反省しています。(「まとめ」は野外炊事の前にしたので、野外炊事の感想は取れていません)

結局1時間遅れの16時に学校について今回の研修を終了しました。ところで、3日間を通して、男子はロッジに宿泊しました。人数の関係とはいえ、色々不便があったでしょう。お疲れ様。

◎自立と自己責任、自主性の大切さを体感することによって、私は高校生だということをやっと認識できた。ついだらだらとしてしまい、けじめもつかない私は、この研修で試されて、自分の欠点、直さなければならないことに気づいた。

◎中学の時は、グループに小さく分かれていたり、クラス内できれつがあったりしていました。でも、高校に入り、グループとか関係なく、どこでも誰でも一緒に話せ、笑える仲間と出会い、本当に良かったと思います。

◎高校に入学する前、私は「変化」を好みませんでした。席替えやクラス替えの時は、毎回憂鬱になり、友達同士の仲が裂けることを恐れていました。そんな生活を送っていた私は、今思うと「楽しい時間」というのがなかったように思います。しかし、この研修を振り返ってみると、自分はいつも笑っていた気がします。心から「楽しい」と思えることができたのです。

◎キャンプファイヤーの終わりの時に、「これからの自分」について考えるときに、僕は「自信を持つ！そして、自分の引っ込み思案なカラをやぶいていこう」と決めました。

◎今回の研修では楽しむべきところと学んだり考えさせられたりするところの差がとても激しかったように思います。「ただ楽しい思い出」にならなかったのは、少しでも私たちが成長したからなのではないでしょうか。それともただ、高校生になって環境が変わったからだけなのかも知れません。

【生徒の皆さんへ】

3日間の研修が充実したものであったことは、みんなの「まとめ」から感じられました。ただ、「充実」の中身は色々であったようです。退所式の時に言いましたが、高校生活のスタートは入学式よりも、宿泊研修です。そこで得たもの(時には疑問や悩み)を日常にどう昇華する(高い次元で解決する)かが大切だと思います。

連休が明けて7日には球技大会がありました。ソフトボールとバスケット、一所懸命の姿がいたる所に見られました。また、8日は連休課題の提出日でした。完全に提出した人、できなくて居残り指導を受けた人、さまざまでした。大切なことは、そこから何を始めるか、です。

ベネッセの小野さんに講師をお願いしたときに、「予定調和の話にはしないで下さい」と言いました。最初から結論が分かる綺麗事は、皆さんには向かないと思ったからです。研修の「まとめ」の引用も、敢えて「予定調和」を避けました。いろいろありますが、悩みのない人生は面白くないですよ。ぐちゃぐちゃ悩むのが人生です。もちろん、大人も含めて。

【保護者の皆様へ】

全体としては、大変落ち着いた感じで学年がスタートしています。もちろん、個々に悩みを抱えている生徒は多いと思いますが、高校時代を思い出して見守っていただければと思います。御心配のある方は、担任にいつでも御相談下さい。

※ HP 版は以下省略